

2014年度日本魚類学会年会シンポジウム

日本の外来魚問題の 現状を考える

外来生物法制定から10年で何が変わったのか？

Recent status and problems of invasive alien fishes in Japan :
What has changed in the 10 years since the enactment
of the Invasive Alien Species Act?

プログラム (講演順・敬称略)

- 「わが国の外来種対策の現状:「愛知目標」の達成に向けて」
立田 理一郎 (環境省自然環境局外来生物対策室)
- 「全国スケールでみた外来魚の侵入が在来魚の多様性に与える影響」
松崎 慎一郎 (国立環境研)
- 「止まらないブラックバスの違法放流」
宮崎 佑介・瀬能 宏 (神奈川県博)
- 「フロリダバスの拡散, 増加」
北川 忠生 (近大農)・淀 太我 (三重大院生物資源)
- 「駆除の実践と成果の現状 1 伊豆沼」
藤本 泰文・芦澤 淳 (伊豆沼財団)・高橋 清孝 (シナイモツゴ郷の会)
- 「駆除の実践と成果の現状 2 深泥池」
竹門 康弘 (京大防災研)
- 「長野県の3湖沼におけるオオクチバス完全駆除の試み」
片野 修 (増養殖研)
- 「霞ヶ浦におけるチャネルキャットフィッシュの生態と被害事例」
荒山 和則 (茨城県漁政課)・半澤 浩美 (茨城県水試)
亀井 涼平 (東京海洋大海洋科学)・加納 光樹 (茨城大広域水圏セ)
- 「カダヤシの放流実態と試行的対策: 徳島県を中心として」
田代 優秋 ((社)地域資源研究センター)・佐藤 陽一 (徳島県博)
上月 康則 (徳島大院ソシオテクノサイエンス)
- 「サケ科魚類における外来魚問題~北海道と本州の比較~」
長谷川 功 (北水研)・坪井 潤一 (増養殖研)・長瀬 崇 (宮川下流漁協)
- 「国内外来種問題」
向井 貴彦 (岐阜大地域)
- 「魚類の外来種対策の現状と課題」
中井 克樹 (琵琶湖博)

事前申込
不要

当日参加費 ¥2000

魚類学会年会参加者は
シンポ参加費不要

日時

2014 11月17日 月

13:00~17:30

会場

神奈川県立
生命の星・地球博物館
SEISA ミュージアムシアター